

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（企画担 当）	来客数の動き	・天候不順の日が多いものの、食品と衣料品に動きが 出てきている。特に婦人のヤング向けや特選ブランド で、ヒットアイテムはないものの、少し持ち直しの動 きがみられる。
	やや良く なっている	百貨店（売場主 任）	来客数の動き	・まだすべての工事が終わったわけではないが、3月 に食料品売場がリニューアルとなり、来客数が増えて いる。
		百貨店（売場主 任）	お客様の様子	・来客数が3か月連続で増加しており、前年が新型イン フルエンザで落ち込んだ影響もあるが、5月はほぼ 前年並みにまで回復している。一方、レジ客数は3か 月とも前年を下回ったが、ファッション関連の平均単 価は3か月連続で3～4%上昇した。客の動きが低価 格志向から価値を重視する形に変化しつつあり、特に 特選雑貨や紳士、婦人服の動きが良く、5月は前年を 5%ほど上回っている。
		百貨店（売場主 任）	お客様の様子	・前年は新型インフルエンザで苦戦したほか、前月も 不安定な気温で衣料品が苦戦したため、その反動も あって今月は売上目標を上回っている。特に、ファッ ション関連ではこれまで低価格志向や消費の抑制傾向 が強かったものの、高額品の購入やまとめ買いなど、 従来とは異なる動きが一部の商品で出始めている。
		百貨店（マネー ジャー）	販売量の動き	・売上の前年比が約20か月ぶりにプラスとなるなど、 若干良くなる傾向がみられる。
		百貨店（サービ ス担当）	お客様の様子	・4月から前年の実績を上回る状況となっており、よ うやく下げ止まった感が出てきた。ただし、今月はこ れまで好調であった北海道の物産展に話題の商材がな いほか、催事に新鮮味がないことで、前年の売上確保 に苦戦している。
		百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・前年が新型インフルエンザの影響で異常値となっ ているため、2年前との比較でみると、今月は14%減と なっている。1月が17%減で、2月が13%減、3月が 32%減であったことを考えると、わずかであるが業況 はやや上向いている。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・1品単価が下がったままで、客1人当たりの買上金 額は回復していないものの、来客数は回復傾向にあ る。
		スーパー（社 員）	お客様の様子	・消費全体が増えているわけではないため、近隣に競 合店が出店した店舗など、既存店は振るわない状況が 続いている。ただし、新規オープン店舗やイベント を増やした店舗は、来客数が増えている。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・日によって寒暖の差が激しいものの、気温が上が ってきたことで飲料水の売上も伸びており、ついで買 いも増えている。
		コンビニ（店 長）	来客数の動き	・天候に恵まれて気温も上昇したため、売上、来客数 共に良くなっている。来客数は前年比で108%と、前 年割れの状況を何とか脱却しつつある。
		コンビニ（マ ネージャー）	お客様の様子	・気温が低く、売上は伸びていないが、通行客や来客 数は増えてきた感がある。
		乗用車販売店 （営業担当）	来客数の動き	・既存客ではなく、初めて来店する客が増えている。
		自動車備品販売 店（営業担当）	販売量の動き	・なかなか資金面では余裕が出てこないものの、販売 量が増加している。
		住関連専門店 （店長）	販売量の動き	・春に販売が伸びた後、例年であれば落ち込む時期と なるが、今年は予想よりも売上の落ち込みが小さい。
	住関連専門店 （店員）	お客様の様子	・客が配送の時間指定をすると別途料金をもらうシ ステムが変わったが、料金が余分に増えるにもかかわらず、 日を追うごとに時間指定する客が増えている。	
	一般レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・来客数に若干の増加傾向が出始めている。ただし、 5月に入って客単価が低下しており、特に中旬以降は 来客数、客単価共に悪化している。	
	一般レストラン （経理担当）	お客様の様子	・今月は少し下げ止まった感がある。ただし、景気回 復によるものではなく、消費者が節約し続けることに 疲れた影響が大きい。また、消費意欲のおう盛な中国 人観光客が増加傾向にあることも影響している。	

	一般レストラン (店員)	来客数の動き	・顧客満足度で業界1位ということもあり、注目度が高まっている。
	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・平城遷都1300年祭などの好材料により、やや上向いている。
	都市型ホテル (支配人)	販売量の動き	・前年比でみた販売量の増加幅が2～3か月前よりも多少大きくなっており、景気の若干良くなっている感がある。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・前年は新型インフルエンザの影響で壊滅状態となったため、単純な比較はできないが、宿泊はアジアからの団体客が好調で大きく伸びている。ただし、国内客の動きは低迷が続いており、客単価は微増にとどまっている。一方、宴会の動きが活発化しつつあり、企業関連では経費削減が続いているものの、単価の比較的高い個人客では規模の大小を問わず、例年にないほど引き合いが多い。
	都市型ホテル (役員)	来客数の動き	・前年は新型インフルエンザの影響で全部門にわたって売上が大きく落ち込んだ。今年はその反動で売上は10%以上増えているが、宿泊部門を中心に回復の動きは鈍く、売上目標には達していない。
	都市型ホテル (マネージャー)	来客数の動き	・平城遷都1300年祭で宿泊部門が好調に推移し、それにレストラン部門も引っ張られる形で来客数が伸びている。特に、今月は高価格帯の店舗も予想を上回る伸びとなっている。前年は新型インフルエンザの影響で落ち込んだため、単純に比較はできないが、前年を大きく上回る結果となっている。
	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・海外旅行の申込が伸びている。特に、2年前は旅行に出掛けたが、前年は我慢したという客の申込が目立っている。
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・新型インフルエンザで落ち込んだ前年に比べれば、今年は良くなっている部分もある。実感として、客の動きが多少上向いている。
	遊園地(経営者)	来客数の動き	・業界全体では必ずしも上向き傾向にはないものの、広告宣伝による話題づくりに成功し、春先から好調に推移している。
	その他レジャー施設[イベントホール](職員)	お客様の様子	・芸能や音楽関係の催物も多様化し、対象年齢層も幅広く広がっている。なかでも、中年層以上をターゲットとした催物は好調となっている。
	住宅販売会社 (経営者)	単価の動き	・不動産売買の成約件数が安定してきている。
	住宅販売会社 (従業員)	競争相手の様子	・分譲マンションの販売在庫が減少しており、ここ2～3年は土地の仕入れを抑えていたデベロッパー各社が、仕入れを強化し始めている。
	その他住宅[展示場](従業員)	単価の動き	・住宅展示場への来場者アンケートでは、建築予算が若干増えてきている。
	その他住宅[情報誌](編集者)	お客様の様子	・新築分譲マンションの販売現場では、ゴールデンウィーク前後から来客数が前年比でプラスに転じており、にぎわいも出始めている。新規発売の物件も増えており、市場に回復感がある。特に、収入の安定している顧客や、親からの援助が期待できる顧客など、購入可能額が平均よりも高い層で動きが出てきている。
変わらない	商店街(代表者)	販売量の動き	・前年の売上には届いていない。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・日没までの時間が長くなっているため、客が増えるはずであるが、天候不順で来客数が少ない。また、スタンプセールを行っているものの、売上が伸びていない。
	一般小売店[衣服](経営者)	お客様の様子	・回復傾向が出始めているという話も聞くが、店舗の入っている商店街やショッピングセンターでも回復の兆しはない。
	一般小売店[事務用品](経営者)	販売量の動き	・新年度に入り、商品の動きが悪化している。3月末と比べると、動きが止まったと感じるほど悪い。
	一般小売店[菓子](経営企画担当)	販売量の動き	・2月と5月の売上前年比を上位5店舗の平均でみると、2月が90.3%で、5月が103.2%となっている。5月の回復傾向は、明らかに前年の新型インフルエンザによる落ち込みが影響している。

一般小売店〔鮮魚〕(営業担当)	お客様の様子	・相変わらず客は低額品しか買わないなど、消費の末端はいつまでも同じような状況である。
一般小売店〔衣服〕(経営者)	販売量の動き	・天候不順の影響で来客数が減っている。
一般小売店〔衣服〕(経営者)	販売量の動き	・気候の影響もあり、春夏物の売行きが大変悪い。景気が良くないだけでなく、気候も落ち着かないため、季節に左右される衣料品は非常に厳しい状況となっている。
一般小売店〔菓子〕(経営者)	お客様の様子	・客の給料が減少しており、給料日前はお金がなくなるため、給料日の後に売上の上がる傾向がみられる。
一般小売店〔野菜〕(店長)	お客様の様子	・ここへきて飲食店の動きがかなり悪くなってきている。
一般小売店〔花〕(店長)	お客様の様子	・買い控えがまだまだ多い感がある。
一般小売店〔カメラ〕(販売担当)	お客様の様子	・景気の底入れを感じる時期もあったが、今月に入って客の財布のひもが固くなってきている。
一般小売店〔菓子〕(営業担当)	販売量の動き	・月後半になっても寒い日があるなど、気候が一向に安定しないため、夏物商品の販売量が低迷している。
百貨店(売場主任)	販売量の動き	・前年は新型インフルエンザの影響で大きく来客数が減少したため、今年は売上の前年比が2けた増となっている。ただし、2年前の水準は下回っているため、手放して喜べる状況ではない。春先の新たなファッションのトレンドによる盛り上がりも落ち着いてきている。
百貨店(売場主任)	来客数の動き	・経済状態が不安定になりつつあるほか、政策もインバクトに欠けるなど良くない傾向となっている。客は価格に対して敏感であるほか、購入に際しては多くの選択肢を持っており、商品に対する要求も多い。
百貨店(営業担当)	単価の動き	・一流ブランドの高額品の動きが鈍く、動いているのは低価格の衣料品などが中心となっている。
百貨店(営業担当)	販売量の動き	・ゴールデンウィーク期間中は店頭での買上げが好調で、以前から欲しがっていた高級時計の購入や、高級婦人服のまとめ買いがみられる。
百貨店(店長)	販売量の動き	・月前半は天候不順で多少苦戦したが、全体的な売上は伸びており、来客数もほぼ前年並みとなっている。ただし、まだまだ予断は許されない状況である。
百貨店(商品担当)	単価の動き	・売上は前年を上回るなど回復感が出てきているものの、中級品の動きがまだまだ鈍い。また、客の間には引き続き不要な物は買わない傾向がみられる。
スーパー(経営者)	お客様の様子	・近隣に競合店が多いので、客は広告を出している店舗を買い回る状況が続いている。
スーパー(経営者)	お客様の様子	・今年はゴールデンウィークに遠出する人が少なかったほか、生鮮品の相場高や、前年の新型インフルエンザによる反動でそう菜売上も増えたため、全体として好調に推移している。ただし、加工食品や消耗品、雑貨類の単価下落がまだ続いており、買いだめのできる商品ほど動きが鈍い。大企業は回復傾向にあるが、中小企業はその恩恵に浴していないため、客1人当たりの買上金額は低下傾向が続いている。
スーパー(店長)	来客数の動き	・衣料品は若干上向いているものの、食品では全体的に来客数が減っている。依然として特売商品は売れる一方、通常価格では売行きが極端に悪化する。住関連ではアウトドア関係が弱い。
スーパー(店長)	販売量の動き	・食料品では来客数が前年比で5%増えたが、販売点数はほぼ前年並みと、客1人当たりでは前年を下回っている。まだまだ購買意欲が上向いておらず、節約志向の強い状態が続いている。一方、子ども用の衣料品では前年の新型インフルエンザによる落ち込みもあり、スクール関連商品の売行きが好調である。
スーパー(店長)	来客数の動き	・景気全体の回復にはついて行かず、衣類の売上は前年を下回っている。特に、子どもや若年層向けに大きな落ち込みが続いている。
スーパー(店長)	来客数の動き	・今月は客1人当たりの買上額が前年を少し上回っている。ただし、1品単価は最悪の状態からは回復しているものの、少し低下気味である。

スーパー（経理担当）	販売量の動き	・野菜の相場高や、衣料品の落ち込み幅の縮小で下げ止まり感が出てきたが、回復までには至っていない。
スーパー（広報担当）	お客様の様子	・前年の新型インフルエンザによる落ち込みの反動で、行楽関連や学校関連の商品が伸びた一方、マスクなどの備蓄品は大幅に悪化している。全体的には気温やイベント、広告などの販促に左右される部分が大きく、回復の足取りは依然として重い。
スーパー（管理担当）	販売量の動き	・従来と変わらず、購買点数が増えていない。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・卵やしょう油といった安売り商品を広告に載せると、朝から行列ができるが、それ以外の商品は買わずにレジへ向かう動きがみられる。
スーパー（企画）	お客様の様子	・高額品も少し動き出しているが、まだ回復傾向といえる動きではない。落ち込みが少し緩やかになってきた程度である。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣のオフィス入居率が低いままで推移しており、来客数は依然として低水準である。
コンビニ（店員）	来客数の動き	・ゴールデンウィークで近隣の会社が休みになり、職人の来店もなかったため、弁当の売上が減少している。
衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・客の持ち込み修理が増えている。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の財布のひもは固いが、新車、中古車共にオプションをつけるなど、気持ちに若干の余裕が出てきている。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・客の動きは依然としてあまり変わっていない。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・前年に比べると若干上向き傾向にあるが、この動きが続くかどうかは、まだまだ分からない。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・例年5月はゴールデンウィークもあり来客数は落ち込むが、今年は前年よりも更に少ない。また、すぐに修理が必要な状態の車の入庫が多く、定期的なメンテナンスを望む客が少ない。
その他専門店【宝石】（経営者）	お客様の様子	・欧州の情勢が不安定になっているほか、株価も下落しており、客の宝飾品に対する購入意欲の低下がみられる。
その他専門店【医薬品】（経営者）	それ以外	・販促広告を強化したほか、天候不順の影響もあり、風邪薬やビタミン類の動きが良い。
その他専門店【スポーツ用品】（経理担当）	販売量の動き	・上場企業の好決算が報じられているが、株価の低下で今一つ上昇ムードに欠けている。
その他専門店【宝飾品】（販売担当）	単価の動き	・高額品の売行きが不振で、売れるのは低額品が中心であるため、売上が伸びない。
一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・ゴールデンウィーク後は客の節約傾向が加速しているものの、女性客は外食に比較的足を向けてくれている。競合店にも女性客をターゲットに低額商品を売り出す動きが目立っている。結局は客単価の低下と引換えに来客数を増やしているため、売上に大きな変化はみられない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは晴天が続いたため、住宅街にある当店の周辺は人通りが減り、来客数も減少している。また、月後半は天候不順で客足が伸びていない。
観光型ホテル（経営者）	単価の動き	・個人客の間でインターネット予約の割合が高まっており、特に単価の安いプランが中心に売れている。その影響で平均宿泊単価がかなり下がってきている。
観光型旅館（経営者）	単価の動き	・価格が非常に安いが高いかのどちらかでなければ、客の反応がない。また、多少の値引きでは反応がないなど、価格にはかなり敏感になっている。
観光型旅館（経営者）	単価の動き	・ゴールデンウィークの来客数は前年並みとなった。それ以降は客足が落ちたものの、客単価は横ばいとなっている。
観光型旅館（団体役員）	来客数の動き	・前年比で来客数が減少傾向となっているほか、団体客の客単価が上がらない。

都市型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・宿泊では、単価の低下がみられるものの、個人予約の動きが良い。前年の売上が新型インフルエンザの影響で底の状態であったため、前年比では130%増とほぼ例年並みに戻ってきている。また、飲食部門も販促効果で売上が伸びており、全体では2年ぶりに目標を上回る勢いとなっている。	
旅行代理店(広報担当)	お客様の様子	・売上の前年比だけを見ると回復していると錯覚するが、前年に新型インフルエンザで落ち込んだ反動によるものである。申込の動きにさほど変化はなく、上海万博の開幕やサッカーワールドカップといった世界的イベントもあるが、申込の動きにはさほど変化がみられない。	
旅行代理店(営業担当)	お客様の様子	・低価格志向が落ち着く様子はみられない。	
タクシー運転手	競争相手の様子	・会社の周辺で客待ちをしていますが、相変わらず訪問者数が少ない。	
タクシー運転手	来客数の動き	・利用は相変わらず必要最小限であるが、今月は天候不順の影響で多少の動きがある。	
通信会社(経営者)	お客様の様子	・決算前の拡販により、目下の買換え需要を先食いしてしまった感がある。	
通信会社(店長)	お客様の様子	・来客数は悪くないが、購入に結びついていない。新商品が出るまで待っている客が多い。	
通信会社(企画担当)	販売量の動き	・相変わらず売上は悪いままで、新たな動きもない。	
その他レジャー施設[飲食・物販系滞在型施設](企画担当)	販売量の動き	・人の動きは悪くないが、相変わらず消費マインドが低い。高額品が売れないというよりも、お金を使わない人が多い。	
その他サービス[学習塾](経営者)	来客数の動き	・無料体験キャンペーンを行ったが、参加者数は例年並みとなっている。	
その他サービス[ビデオ・CDレンタル](エリア担当)	販売量の動き	・ゴールデンウィークの天気が良く外出する人が増えたため、特に映像レンタルの売上前年比が悪化している。	
住宅販売会社(総務担当)	販売量の動き	・相変わらず値下げ競争が続いている。住宅版エコポイントや、住宅取得資金に関する贈与税の非課税枠拡大についても、現状維持につながる程度の効果しかない。	
その他住宅投資の動向を把握できる者[不動産仲介](経営者)	販売量の動き	・不動産の取引件数は増加傾向にあるが、金融機関の融資が増えているかどうかは分からない。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・2、3月にはイベントを毎週末に開催していたが、4月からは月1回となっている。4月はそれまでの影響もあって週末は客が集まったものの、ゴールデンウィーク明けの週末を母の日のイベントでしのいだ後は、閑古鳥が鳴いている。
	一般小売店[時計](経営者)	販売量の動き	・ゴールデンウィークの日並びが良く、行楽に出掛ける人が増えたため、店に動きが出たのは10日過ぎと寂しい結果になった。来客数は何とか維持できたものの、販売量は今年に入って2番目の悪さとなっている。
	一般小売店[珈琲](経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィーク以降は来客数の減少が顕著であり、新たな商売にもつながらない。
	一般小売店[精肉](管理担当)	それ以外	・口蹄疫の影響がどこまで広がるか予想がつかない。業界全体への影響も含めて非常に気掛かりである。
	一般小売店[家具](経営者)	単価の動き	・小売業では中級以上の商品が動いていない。
	一般小売店[雑貨](店長)	単価の動き	・たばこの値上げ決定後に禁煙する人が増えたため、売上が更に減少している。
	百貨店(売場主任)	販売量の動き	・前年は新型インフルエンザの影響で、身の回り品を中心に販売量が大きく落ち込んだにもかかわらず、今年は前年の売上をわずかにしか上回っていない。

百貨店（婦人服担当）	販売量の動き	・天候不順もあって都心部の店舗では比較的順調に売れているが、郊外の店舗では売上にばらつきがあるため、全体としては3か月前に比べてあまり良くない。	
スーパー（企画担当）	販売量の動き	・来客数は前年比で92%となったが、売上は85%と大きな差がある。	
コンビニ（店長）	単価の動き	・単価の安い商品、特に値引き商品の動きは比較的良い。ただし、通常価格の場合は新商品でも売れるのは最初だけで、すぐに低額品へ需要の戻る傾向が顕著である。	
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・4～5万円の高額スーツが売れなくなっている。売れているのは2～4千円の低価格のカットソーやセーターの単品物であるため、客単価が伸びず売上の増加につながらない。安い商品が中心の店に客が流れており、高額品の売れない状況が続いている。	
家電量販店（経営者）	お客様の様子	・天候不順や政治への不安により、先行き不透明感や閉そく感がある。客の財布のひもも非常に固く、低額品を購入する傾向が強まっている。	
家電量販店（店長）	単価の動き	・エコポイント制度の対象商品の見直しに伴い、3月に駆け込み需要が発生したため、テレビの在庫切れによる販売ロスがいまだに続いている。ただし、駆け込み需要でテレビの買換えが進んだため、需要そのものは落ちている。冷蔵庫や洗濯機など、そのほかの対象商品の動きは前年とほぼ変わらない。	
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・月前半は休みが多く、営業活動が十分にできなかった。店舗当たりの販売台数も、前年の17.5台に対して、今年は14.5台と減少している。	
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・ここ数か月は営業利益が落ちている。客の様子をみても、株価や世間の動きに左右されて消費を控えている感がある。	
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・大企業の好調が報じられているが、小売業はまだまだ厳しい。暗いニュースも多いため、客の財布のひもが固い。	
その他専門店 〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク明け以降は販売数量が減少している。	
一般レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・依然として来客数の減少傾向が続いている。また、3月のメニュー改定以降は客単価が意図に反して低めに推移しており、売上の減少につながっている。	
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・来客数が減っており、高額商品も売れなくなっている。	
タクシー運転手	来客数の動き	・現金支払、チケット利用共に減っており、夜間は特に少なくなっている。	
タクシー会社（経営者）	お客様の様子	・夜の人通りが非常に少なく、繁華街でも電車で帰る人が多いなど、タクシー需要が減っている。	
通信会社（社員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークを境に申込の動きが少し鈍化している。様々な販促を行っているものの、客の反応が悪化してきている。	
競輪場（職員）	来客数の動き	・来客数、購入単価共に低調で、景気が回復基調にあるとは考えられない。	
その他サービス 〔コインランドリー〕（経営者）	来客数の動き	・近くに競合店がオープンしたため、来客数が若干落ち込んでいる。	
住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・新規の購入客数が著しく少ない。	
悪くなっている	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・天候不順の影響もあるが、購買意欲の減退が顕著である。
	その他専門店 〔医薬品〕（店員）	販売量の動き	・店舗ごとに商品を入れ替えたが、新製品や季節商品の売上は期待していたよりも少ない。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・月前半は、客の来ない日が週に2、3日あるなど最悪の状態であったが、20日以降は多少取り戻している。
	その他飲食 〔ファーストフード〕（店員）	来客数の動き	・メニューに飽きてきたのか、来客数が減少している。
	タクシー運転手	来客数の動き	・景気の上向き要素がなく、気候面でも不利な状況となっている。

		競輪場（職員）	単価の動き	・今月の客単価は10,873円と、3か月前の11,140円に比べて悪くなっている。
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・新規の問い合わせの動きも、低迷が続いている。
企業動向関連	良くなっている	化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・為替変動により売上の利ざやが大きくなっている。また、今月は好調であり、作っても作っても売れる状態となっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・電気製品、情報端末はこれから本格的な拡大期に入るため、非常に動きが良くなっている。ただし、顧客は景気サイクルの短期化を心配しており、納期の短縮を要求してきている。景気の基礎的な部分が回復しないまま先行投資に走ると、会社が破たんし追い込まれるため、縮小均衡を目指さざるを得ない状況である。
やや良くなっている		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上の前年比はかなり回復しているが、回復の度合いは徐々に小さくなっている。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量は増加しているが、単価は下がったままである。3か月前との比較では確かに良くなっているものの、収益の回復にはつながっていないため、冷静に見守る必要がある。
		金属製品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・自動車関連を中心に出荷量が安定している。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社には原子力発電関連の顧客が多く、大型の受注に成功したほか、大規模な引き合いも寄せられている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・取引先の発注数量が若干ながら回復している。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・前年が悪過ぎたため、少し上回る程度では良いとはいえないが、前年に比べて売上は良くなっている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年この時期は閑散期となるが、今年は受注が堅調に推移している。土地が動き始めているという声もよく聞かれる。
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・ゴールデンウィークは天候にも恵まれ、ショッピングセンターの集客はますますとなっている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・顧客の中小スーパーマーケットでは、売上が前年比10%減から5%減へと若干回復している。ただし、これは野菜価格の上昇や、口蹄疫による国産牛肉の価格上昇による部分もある。一方、口蹄疫の関係で需要の増えた豚肉は仕入価格が徐々に上がっているが、そのまま価格転嫁できないため、利益の圧迫される傾向が出てきている。
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・夏物商戦に向けて、各社から販促物の作成依頼が増えている。数か月前に比べて注文のサイズや数量が増えており、各社の意気込みが感じられる。
変わらない		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・販売量に大きな変化はなく、良くも悪くもない状態が続いている。ただし、今月は気温の差が激しく、天候も良くない日が多いことを考えると、状況としては若干良い。
		食料品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・前月は若干上向いていたため、今月も期待していたが、天候不順の影響で悪化している。
		繊維工業（総務担当）	取引先の様子	・繊維製品は、景気だけではなく気候にも売行きが左右されるため、出荷量が低迷している。取引先の苦戦により、当社の受注も前年に比べて悪化している。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節要因を考慮すると変化はない。
		出版・印刷・同関連産業（情報企画担当）	受注量や販売量の動き	・宣伝、印刷業界は夏場にかけて閑散期に入るが、医薬業界に夏枯れはない。政府の方針でジェネリック医薬品に脚光が当たっており、国内企業や外資系企業の参入が相次いでいる。ただし、そのほかの業界の動きが今一つであるため、全体としては伸び悩んでいる。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・鉄鉱石の価格上昇による鋼材値上げが進んでおり、荷動きが悪化している。
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新年度に入って入札物件も少しずつ増えてきている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・少し業況が良くなったものの、一時的な動きに終わる感もある。

		その他製造業 〔履物〕(団体 職員)	受注量や販売量 の動き	・ゴールデンウィーク明けの受注量が減っており、 メーカーが現場を休みにすることもある。
		その他製造業 〔事務用品〕 (営業担当)	受注量や販売量 の動き	・売上は低迷したままで変化がない。
		建設業(経営 者)	競争相手の様子	・同業者や関連企業の倒産や廃業がまた増えてきている。
		建設業(経営 者)	受注価格や販売 価格の動き	・戸建住宅の平均単価がどんどん下がっている。
		建設業(営業担 当)	取引先の様子	・前年と同様に受注が少なく、残業や早出が全くない 状況である。
		輸送業(営業所 長)	受注量や販売量 の動き	・上海万博の影響で中国からの輸入が前倒しされたた め、前月は輸入貨物の配達が例年にないほど増えた が、今月に入って減少している。
		金融業(支店 長)	取引先の様子	・取引先の建築業者では、住宅版エコポイントの利用 拡大で改装工事が増えるなど、明るい動きがみられ る。
		広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・新年度になっても、顧客企業から広告関連の良い情 報は聞かれない。
		その他非製造業 〔機械器具卸〕 (経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・1年ほど前から納入価格の値下げを要求され、それ に応じているため、売上が伸びず利益も下降してい る。
		その他非製造業 〔民間放送〕 (従業員)	受注量や販売量 の動き	・CM需要はやや持ち直したものの、依然として顧客 企業の動きは鈍い。
	やや悪く なっている	繊維工業(団体 職員)	受注量や販売量 の動き	・原材料の綿糸価格が高騰したまま推移しているが、 販売価格は低下しているため採算は悪化している。
		繊維工業(総務 担当)	取引先の様子	・販売活動が十分ではなく、それが数字にも表れてい る。こちらから売り込むにも人件費で経費がかさんで おり、採算ぎりぎりの状態にある。
		新聞販売店〔広 告〕(店主)	受注量や販売量 の動き	・折込広告の注文が減少している。毎年5月は良いは ずであるが、悪かった前月以上に落ち込んでいる。
		経営コンサルタ ント	受注量や販売量 の動き	・顧客企業の業界全体が大企業ほどは回復してない ため、依然として苦しい状況となっている。
		その他非製造業 〔衣服卸〕(経 営者)	受注価格や販売 価格の動き	・原料である綿糸価格の上昇が激しい。世界的に綿花 の作付面積が減少するなか、世界経済の回復で衣料品 関連での需要が改善したため、昨年末から上昇傾向に ある。特に、中国の需要が大幅に拡大したことで、今 年になって大きく上昇している。製造コストが上がる なかで、販売価格の上昇はこれからであるため、利益 の減少につながっている。
	悪く なっている	一般機械器具製 造業(設計担 当)	受注量や販売量 の動き	・受注量の少し上向く兆しが出てきたものの、受注価 格が下がっている。
		不動産業(営業 担当)	取引先の様子	・前年から貸ビルのテナントに解約が出てきたが、そ の後の入居もままならない状態である。引き合いが あっても希望賃料が低いなど、厳しい状況となっている。
		広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・3月は広告量が少し増加傾向にあったが、4月は若 干減り、5月になると前年をかなり下回っている。
		その他サービス 〔自動車修理〕 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・仕事の内容や条件が悪くなってきている。
雇用 関連	良く なっている	民間職業紹介機 関(支社長)	採用者数の動き	・採用者数が2月から前年を上回っており、求人数 も前年比で120%程度の推移となっている。
	やや良く なっている	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・求人数は多少良くなっている。ただし、最悪期を脱 した程度で、好況期に比べればまだまだ厳しい。
		人材派遣会社 (支社長)	求人数の動き	・アジア向けの取引を中心に、メーカーの業績が急速 に回復しているほか、国内でも設備投資が増え始めて いる。
		人材派遣会社 (役員)	求人数の動き	・金融など特定の業種を除いて求人数が増えており、 関西地区では前年比で117%、金融を除けば200%と大 幅な増加となっている。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数は2か月連続で前年を上回っている。ま た、2、3年ぶりに新規求人を出す事業所が出てきて いる。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の新規求人数は前年比で約20%増えている。一般求人が増ばいで、パート求人が40%増となったほか、産業別では製造業、運輸、飲食関係で50%以上の増加となっている。また、新規求職者は新型インフルエンザの流行で減少した前年を更に下回っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は改善傾向にあるが、正社員求人はまだまだ少なく、雇用情勢は依然として厳しい。また、求職者数は減少傾向にあるが、4、5月は増加がみられるなど、こちらも予断を許さない状況である。
	民間職業紹介機関（営業担当）	周辺企業の様子	・周辺では、今後の採用計画などで前向きな企業が少し増えてきている。
変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・ゴールデンウィーク明けから雇用情勢は悪化している。人材派遣では登録者がかなり余っているほか、派遣に対する規制がかなり厳しくなりつつあるため、派遣に対する企業の考え方も変わってきている。
	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・一部の企業で業績が回復しつつあるものの、業務量としては社内の人員で対応できるレベルである。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・新聞の求人を扱う広告会社が、統廃合や倒産、廃業などを経て、低調な状態で落ち着きつつある。ただし、求人が増えている感はない。
	学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・採用依頼のために企業訪問を行っているが、業種間で採用姿勢の二極化が顕著になっている。
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前月に続いて求人数は減少傾向にある。パート求人のほか、特に建設業での大幅な減少が目立っている。製造業では若干持ち直しつつあるものの、派遣求人が中心となっている。
	民間職業紹介機関（大学担当）	雇用形態の様子	・求人の動きに少し回復の兆しが出てきたものの、給与などの収入面は回復していない。ただし、あと数か月で前年並みに戻りそうな様子であり、このバランスが整えば景気回復も早まる。
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人企業数を前年の1月と比較すると60%程度落ちている
悪くなっている	-	-	-